

令和5年7月11日

南の風 For Junior 128

南部地区ミニバスケットボール連盟

会長 藤原 敬一

しばらく間が空きましたが、5アウトモーションオフenseのオフボールスクリーンの続きです。

①のカールカットは、1が2にパスした後、逆ウイングの3のDefにアウェースクリーンを掛け3がペイントに侵入するというやり方でアドバンテージを作る、という攻め方でした。

今回は②のスリップについて書きます。

まずトップの1が右ウイングの2にパスします。1はパスの後左ウイングの3のDefにスクリーンに行く振りをして、立ち止まらずスリップしてペイントにダイブします。特にDefがスイッチしたときにスリップは有効になります。するとスリップした1にチャンスが生まれるとともに、スクリーン気味に来た1によって、カールカットしたり、右エルボー迎りにカットしたりする3にもチャンスが出てきます。チャンスが二つになるのです。

もう一つ例を挙げます。トップの1がボールをもっているとします。右コーナーの4が右ウイング2のDefにフレースクリーン（バックスクリーン）を掛けるふりをして上がります。そこで立ち止まらずにスリップしてペイントにカットします。右ウイングにいた2は右コーナーにカットダウンします。ここでもチャンスがスリップした4と、コーナーダウンした2に生まれます。特に2が3Pシューターの場合は有効になります。また3Pシュートの振りをして、クローズアウトを利用してドライブで攻めることもできます。そこから5アウトのカットプレーのところで紹介したように、サークルカットで合わせることも可能になるのです。

続いて③のブラースクリーンです。

「ブラー」と言う言葉は聞きなれないと思いますが、「あいまいな」と言うような意味になります。スクリーンであるようで完全なスクリーンではないプレー（動き）です。

トップの1がボールを左ウイングの3にパスしたとします。1は何となく3のDefに近寄っていきます。オンボールスクリーンに行くような動きではなく、何となく立ち止まらずとブラブラ行くようなイメージです。

ボールを受けた3はブラーする1の背中にドライブするようにしてペイントに侵入します。ちょうどポストのシザースプレーのように1の背中にドライブするのです。このブラースクリーンはユーザー（この場合は3）とスクリーナー（この場合は1）が同じ位の身長有的时候に使うと有効になります。

なぜなら普通のピック&ロールならば、センターがガードのDefにスクリーンを掛けることによって、スイッチによる mismatch を誘発することが可能になります。しかしサイズが同じ位であれば、ピック&ロールの利点はさほどない気がします。それならば、パスした1が何となくボールマンの方に行くことによって、相手を戸惑わせる完全なスクリーンではない、ブラースクリーンの方が有効性が高くなると思います。

現在、5アウトのオフenseが各カテゴリーで注目されていますが、U15の選手の皆さんもチームで取り入れる際には、メリット、デメリットを理解したうえで取り組んでください。